

アカデミックフェス 事後レポート

企画名： 企業トップの考えるダイバーシティ・マネジメント

—一次世代金融を導く成長戦略—

企画名（英語）： Considering Diversity Management through the Top Leaders

—New Growth Strategy in the Financial Industry—

時 間： 15：00～18：00

会 場： グローバルフロント グローバルホール

登壇者： 東 和浩 株式会社りそなホールディングス代表取締役社長

鳥海 智絵 野村証券株式会社専務執行役員（前野村信託銀行株式会社社長）

笹田 珠生 メリルリンチ日本証券株式会社代表取締役社長

（登壇順）

開催概要：

かつて日本企業では男性、日本人、正社員を中核とした同質的組織の凝集性が経営の優位性を担保してきた。しかし、今日では情報化・グローバル化が進展し、ESG、SDGsへの対応やコンプライアンス重視の経営が求められるなど、従来型の経営手法、人材管理のあり方では整合性がとれない状況となってきた。そこで、本企画では近年注目されるダイバーシティ・マネジメントについて、先進的取組を行う企業の経営者3名を招聘し、講演を行う。その後、筆者のファシリテートによるパネルディスカッションを実施する。

開催概要（英語）：

Event Outline

Date: November 23rd (Sat) 2019

Place: 1st floor of Global Front, Global Hall, Surugadai Campus,

Meiji University

Guest Speaker: Kazuhiro Higashi (CEO Resona Holding, Inc.)

Chie Toriumi (EVP Nomura Securities Co., Ltd.)

Tamao Sasada (CEO Merrill Lynch Japan Securities Co., Ltd.)

Coordinator: Naomi Ushio

(Professor, School of Information and Communication, Meiji University)

Session 1 Serial lectures from the guest speakers

Session 2 Panel discussion

More than 230 people visited the hall with a capacity of 192 people. In session 1, they shared their own specific policies and significance of diversity

management and these were explained clearly through session 2. Third year undergraduate students of Ushio's seminar made the presentation including these companies profile. They managed this event and it also served them the educational effect. The comment sheets from participants showed the high level of satisfaction. Thus the events had done in a great success.

開催内容：

2019年11月23日(土)に、本学グローバルホールにて、金融業界のダイバーシティ・マネジメントをめぐり講演およびパネルディスカッションを実施した。来訪者数はのべ230名強が見込まれる。第一部のゲスト3名による連続講演では、192人収容のグローバルホールが、いずれも立ち見が出るほど盛況であった。

本イベントが主軸とするダイバーシティとは、人種や性別、性的指向、障がい、年齢などに関する違いのほか、一人ひとり異なる価値観や能力、経験、知識など、いろいろな意味での多様性を指す。

本イベントは二部で構成されている。第一部では、国内外で活躍する金融企業から、りそなホールディングスの東和浩社長、野村證券の鳥海智絵専務、メリルリンチの笹田珠生社長といったトップ3名を招聘し、各企業のダイバーシティ・マネジメントの取組について各25分間、計1時間半の連続講演を行った。また講演前には、牛尾ゼミナールの3年生が企業紹介を兼ねて5分間のプレゼンも行った。

続く第二部では、筆者のファシリテートによるディスカッションを実施した。その際、各講演者が注目した女性活躍や働き方改革、機会均等に焦点をあて、より踏み込んだ議論を展開した。さらに、ディスカッションの最後には、各講演者から学生に向けてエールが送られた。

総じて、本イベントは形式・内容共に現代の日本におけるダイバーシティ・マネジメントをより理解し、今後実践する上での指針ともなる充実した事業となった。さらに、学生たちは企業研究を重ね、プレゼンの改良や本イベントの運営について試行錯誤を繰り返す過程で、著しく成長した。その意味でも、本イベントは学生に対する教育的効果があったと言える。



以上